

# 追塩施設地質調査業務委託 仕様書

## 1. 業務の目的

本業務は、志摩市が別途発注して契約する追塩施設設計業務委託（以下、設計業務と表記）に関連する地質調査業務である。

設計業務では、別紙 1 に記載の箇所に水道施設を建設するための設計を行う。本業務の受注者は、当該設計に必要となる地質調査を実施し、その成果物を提出する。

## 2. 業務の流れ

業務の着手後、設計業務の受注者の名称等を発注者が通知する。

地質調査の時期、詳細な位置及び注意事項等については、発注者、本業務の受注者、設計業務の受注者の三者の協議により決定する。この協議の時期は、発注者が調整する。地質調査作業の時期は、設計業務の受注者が行う現地調査の工程に合わせることであり、おおむね 6 月以降となる見通しで、発注者の指示に従うこととする。

地質調査後は、設計業務の受注者が必要とする成果物、資料等をすみやかにとりまとめる。

この成果物、資料等を発注者、設計業務の受注者が確認する。この確認の時期は、発注者が調整する。

## 3. 業務管理等

受注者は業務の履行にあたって、特に次の事項を遵守すること。

### （1）調査位置の基準点

調査位置の基準点に関し、発注者と協議して決定する。

### （2）現場作業中の安全確保

三重県業務委託共通仕様書（地質・土質調査業務共通仕様書）によるほか、次の事項も順守して作業にあたる。

ア、労働安全衛生法（昭和 47 年法律第 57 号）等の関連する法令に基づき、あらかじめ保安上の必要な処置を講じたうえ、緊急時の応急処置等について、常に監督職員と協議を密にし、必ず安全具、保護具等を着用して作業する。また、第三者に対する安全確保も同様に処置し、作業期間中の災害及び事故の防止に努める。

イ、作業中に立入り禁止区域がある場合は、作業区域を明示するなど適切な処置を講じてから作業する。

ウ、気象予報又は警報等について、常に注意を払い、災害の予防に努める。

### （3）環境保全等

環境基本法（平成 5 年法律第 91 号）、騒音規制法（昭和 43 年法律第 98 号）、振動規制法（昭和 51 年法律第 64 号）、大気汚染防止法（昭和 43 年法律第 97 号）、水質汚濁防止法（昭和 45 年法律第 138 号）その他関係法令等に従い、作業中の環境の保全に努める。

作業に関して、第三者から説明の要求又は苦情があった場合は、直ちに誠意をもって対応し、監督職員に報告する。

#### (4) 作業の管理及び現場作業条件等

自らの責で作成した業務計画書を遵守して業務にあたる。

熟練した技術者及び作業員を派遣するとともに、自らの費用と責任において業務管理体制を確立する。また、資格を必要とする作業がある場合、それぞれの資格を有する者に作業させる。

作業時間は、原則として休日祭日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までとする。これらの時間以外、または夜間に作業を行う場合は、あらかじめ理由を付した書面を監督職員に提出する。

自ら計画した当日の作業量に対して、十分に対応できる機械器具を準備する。

#### (5) 準備、清掃及び後片付け

調査用の水は、受注者において確保する。

作業の実施にあたり、必要に応じて、受注者の責において十分に養生を実施してから作業する。作業完了後は、速やかに養生を撤去する。

現場作業を行った日及び作業完了に際しては、後片付け及び清掃を行うこと。

### 4. 業務の連携

志摩市が別途発注する測量作業とも業務場所を同じくすることとなるため、お互いの作業工程、作業上の注意点等を確認のうえ本業務を履行すること。当該測量作業の受注者も決定次第、発注者が通知する。

関連業務の受注者との調整については原則として発注者を介して行うこととするが、直接のやりとりが生じた場合にはその内容を記録した打合せ簿を提出すること。

### 5. 打合せ

打合せにかかる業務の区切りは、「当初（着手時）」、「中間（詳細な位置決定等の時期）」、「最終（成果物納入時）」とする。打合せ記録は受注者が作成し、監督職員に提出すること。

### 6. 成果物

電子データで納品する図面は、ファイル形式及び仕様について発注者からの指示による。

履行期間途中で提出を求める成果物、資料等は、設計業務の受注者が業務中に必要とする資料で、時期、内容は打合せにより決定し、発注者が指示する。

### 7. その他事項

業務上、不明な点が生じた場合は、速やかに監督職員に報告し、協議すること。